

# 令和5年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 名草小 学校
校長氏名	伊澤 真佐子
作成日	令和 6 年 3 月 1 日

## 1 教育目標

心豊かで、たくましく生きる子どもを育てる
----------------------

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に取り組むことができた(教師90%)</li> <li>・毎日の勉強が分かる(児童90%)</li> <li>・子供主体の授業を実践したと思う(教師90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる(児童95%)</li> <li>・命の大切さや社会のきまりを教えてもらっている(児童95%)</li> <li>・いじめの解消率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の時間が楽しいと感じる(児童90%)</li> <li>・積極的に運動を行うように計画し、場を設定した(教師90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は教育活動や子どもの様子を保護者に分かりやすく伝えている(保護者90%)</li> <li>・学校は、保護者や地域と連携を図り、PTA活動や行事等を行っている。(保護者85%)</li> </ul>
重点目標 P	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎・基本の確かな定着</li> <li>◎子供主体の授業の推進</li> <li>○家庭学習の定着</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳・人権教育の充実</li> <li>○いじめの未然防止、早期発見</li> <li>○仲間づくりの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎体力向上の推進</li> <li>◎基本的な生活習慣の確立</li> <li>○危機回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎家庭・地域との連携充実</li> <li>◎コミュニティスクールとして地域の資源活用の推進</li> </ul>
取組の状況 D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科の授業を中心に「思考力・表現力」を育てる授業に取り組んだ。教具やICTを活用した授業改善にも取り組んでいる。</li> <li>・家庭学習の手引きを考え、家庭学習の意欲付けとした。</li> <li>・学びタイムの金曜日は読書の時間になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間を充実させ、全ての教科で人権の大切さを感じ取らせる指導をする。</li> <li>・いじめアンケートを実施し、早期発見・早期対応に努め、気になる子どもについては聞き取り調査を行った。</li> <li>・情報モラルやネット社会に潜む危険について保護者と児童に学ぶ機会を設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養黑板を全クラスに配り、毎回、給食を食べる前に献立を栄養別に食材で示している。</li> <li>・広い運動場や名草山を利用した外遊びを推進した。</li> <li>・避難訓練や交通安全教室、不審者対応訓練を通して、危機回避能力を高めるように計画した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りを毎月地域に配布し、学校のホームページに活動の様子を挙げ発信した。</li> <li>・育友会が中心となって夏祭りを行った。地域の方にも参加していただいた。</li> <li>・150周年記念行事もあり、地域の方との交流が増えた。</li> <li>・登下校時の見守りに地域の方も参加いただいている。</li> </ul>
取組の成果と課題 (評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に取り組むことができた(教師85%)</li> <li>・毎日の勉強が分かる、子供主体の授業を実践したと思う(児童88%・教師90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる(児童96%)</li> <li>・命の大切さや社会のきまりを教えてもらっている(児童99%)</li> <li>・いじめの解消率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の時間が楽しいと感じる(児童96%)</li> <li>・積極的に運動を行うように計画し、場を設定した(教師87%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は教育活動や子どもの様子を保護者に分かりやすく伝えている(保護者75%)</li> <li>・学校は、保護者や地域と連携を図り、PTA活動や行事等を行っている。(保護者81%)</li> </ul>
改善方法 (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供に資質・能力をつけるための授業を行い、ICTの活用も推進していく。</li> <li>・和歌山市の客員指導主事の山本紀代先生を指導助言書として招聘する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業改善を図り、豊かな心の育成に努める。</li> <li>・いじめアンケートを月に一回実施し、いじめの未然防止、早期発見に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養について学ぶ機会をもち、食育を進めていく。</li> <li>・体力向上のために、外遊びを積極的に取り入れる。</li> <li>・危機回避能力を高めるために、避難訓練を定期的に計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は各種たよりを定期的に発行するとともに、学校のホームページに学校の活動の様子を挙げ、取組や現状について発信する。</li> <li>・コミュニティスクールとして地域の人材を活用し、学校の活性化を図る。</li> </ul>

## 3 その他の課題

学校前の道路が狭いので、雨の日の送迎の車が多くなると、交通事故の心配があり、地域にも迷惑がかかることがある。
--